



生活困窮親子への支援にご協力をお願いします(^)/

これまでの経緯

《フクシマの子どもの未来を守る家:高橋裕子》

◎2020年11月、「フクシマの子どもの未来を守る家」の余った備品や消耗品、子ども衣類、新鮮な野菜辞書(お下がり)等を今最も生活苦にある子ども達に提供できないだろうか…?と考え、団体登録している鶴岡市ボランティアセンターに相談。



◎ボランティアセンターから鶴岡市が主催する生活困窮家庭対象の「こども食堂と学習支援」の存在を教えてもらい、担当者につないでもらう。(鶴岡市子育て推進課 佐藤さん)

「にこふる」で開催されている「子ども食堂と学習支援」とは?

◎国が、片親家庭の子どもにも学習を保障しよう…と予算化、山形県も予算化し、次いで鶴岡市も予算化をして、2016年から「にこふる」を会場にして学習支援が開始される。

実現の背景には、「母子会」からの強い要望があった。皆川市長になって前進

◎学習支援に登録している子ども、約40人 実際に参加する子は20人くらい。



◎毎週(土)10時~「にこふる」3階、調理実習室にて実施 ※月2回は、学習支援+子ども食堂

子ども食堂は、コロナ感染の為に休んでいたが、2020年10月から再開、しかし二次感染が広がったため、11月以降は休止している。学習支援(通称「塾」)は中断することなく継続している。

◆鶴岡市: 山形市にある「ひとり親家庭支援」のNPOに鶴岡市での学習支援事業を委託、会場を確保する。学習支援は、退職教員の方が統括し、山大生5名がアルバイト講師を務める。

遠隔地の朝日、温海地域の子どもには、講師の学生さんが出張して学習支援をしている。

◆母子会: 朝日、温海地域への講師の学生さんの送迎、「子ども食堂」の食材を調達する。

今後について



美味しいものを食べて元気になってね(^_^)

◎野菜やお米を提供してくださる方の協力を得て、学習支援に来られる親子に、月1回

を目標に新鮮な野菜、果物、米、学用品等を提供(持ち帰り用として)

◆12月12日(土) 大根5本・キャベツ5個・ネギ10本(酒田○さん)人参(酒田:富樫さん)キャベツ2個・ネギ5本(諏訪さん祖母)長いも大2本(小島さん)里芋10袋・芋の茎10袋(遠藤さん)リンゴ6個(裕子)

◆年末29日 餅20袋(匿名さん)、里芋(遠藤さん)

◆2021年1月9日(土)大根、キャベツ、ネギ、米(酒田富樫さん、ご近所さん)リンゴ25個(大塚町蛸井さん)乾麺(遠藤さん)衣類・辞書(矢口さん)辞書(小島さん)寄附金3000円(新海町三浦清榮さん)